

提出書類様式例

提出書類の作成に当たり、必要な場合は、以下の様式例を使用して作成してください。
所轄庁に提出する際には、書類のコピーをとるなどして、書類の写しを表紙とともに提出してください。

なお、以下に示す提出書類の様式例は、あくまでも参考例です。これまで、独自の様式で作成してきた法人については、従来の様式を変更する必要はありません。

- ① 表紙
- ② 代表役員名簿
- ③ 責任役員名簿
- ④ その他の役員名簿
- ⑤ 財産目録
- ⑥ 収支計算書 (収入の部)
(支出の部)
- ⑦ 境内建物に関する書類
- ⑧ 事業に関する書類

年 月 日

文部科学大臣
知事

殿

事務所の所在地
宗教法人
代表役員

印

事務所備付け書類の写しの提出について

宗教法人法第25条第4項の規定により、下記の事務所備付け書類（写し）を添えて提出します。

記

書類名	提出の有無
1. 役員名簿	提出する
2. 財産目録	提出する
3. 収支計算書	・ 提出する ・ 提出しない 次のすべてに該当するため ①公益事業以外の事業を行っていない ②年間収入が8千万円以内である ③収支計算書を作成していない
4. 貸借対照表	・ 提出する・ 提出しない（作成していないため）
5. 境内建物に関する	・ 提出する・ 提出しない（該当しないため）
6. 事業に関する書類	・ 提出する・ 提出しない（事業をおこなっていないため）

（注）役員名簿、財産目録はすべての法人が提出してください。

3～6は、いずれかを○で囲んでください。

財産目録

(年 月 日現在)

区分・種類		数量	金額		備考
【資産の部】					
特別 財産					
	特別財産計				
基 本 財 産					
	基本財産計				
普 通 財 産					
	普通財産計				
資産合計(A)					
【負債の部】					
負 債					
	負債合計(B)				
正味財産(C) = (A) - (B)					

年度収支計算書

(収入の部) (年 月 日 ~ 年 月 日)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
1.宗教活動収入				
2.資産管理収入				
3.雑収入				
4.繰入金収入				
5.貸付金回収収入				
6.借入金収入				
7.特別預金取崩収入				
8.預かり金収入				
当年度収入合計 (A)				
前年度末現金預金 (B)				
収入合計 (C) = (A) + (B)				

年度収支計算書

(支出の部) (年 月 日 ~ 年 月 日)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
1.宗教活動支出				
2.人件費				
3.繰入金支出				
4.資産取得支出				
5.借入金償還支出				
6.特別預金支出				
7.預り金支出				
8.予備費				
当年度支出合計 (D)				
当年度末現金預金 (E)				
支出合計 (F) = (D) + (E)				

事業に関する書類

年 月 日 現在

- 1 名称
- 2 事業所の所在地
- 3 事業の内容
- 4 法令による許認可等
許認可等行政庁名
許認可等年月日
- 5 責任者氏名
- 6 従業員数
- 7 前年度の収支決算額

収入額（益金）
支出額（損金）
剰余金（純利益）
- 8 収益の使途